

**稲沢市子ども・子育て支援事業計画策定のための
ニーズ調査 結果報告書(概要版)**

平成 31 年 3 月

1 調査の結果概要（就学前児童）

○調査対象：稲沢市在住の就学前児童がいる家庭の保護者 2000 世帯

○調査期間：平成 30 年 11 月 21 日～平成 30 年 12 月 5 日

○調査方法：郵送配布・回収

○配布・回収：

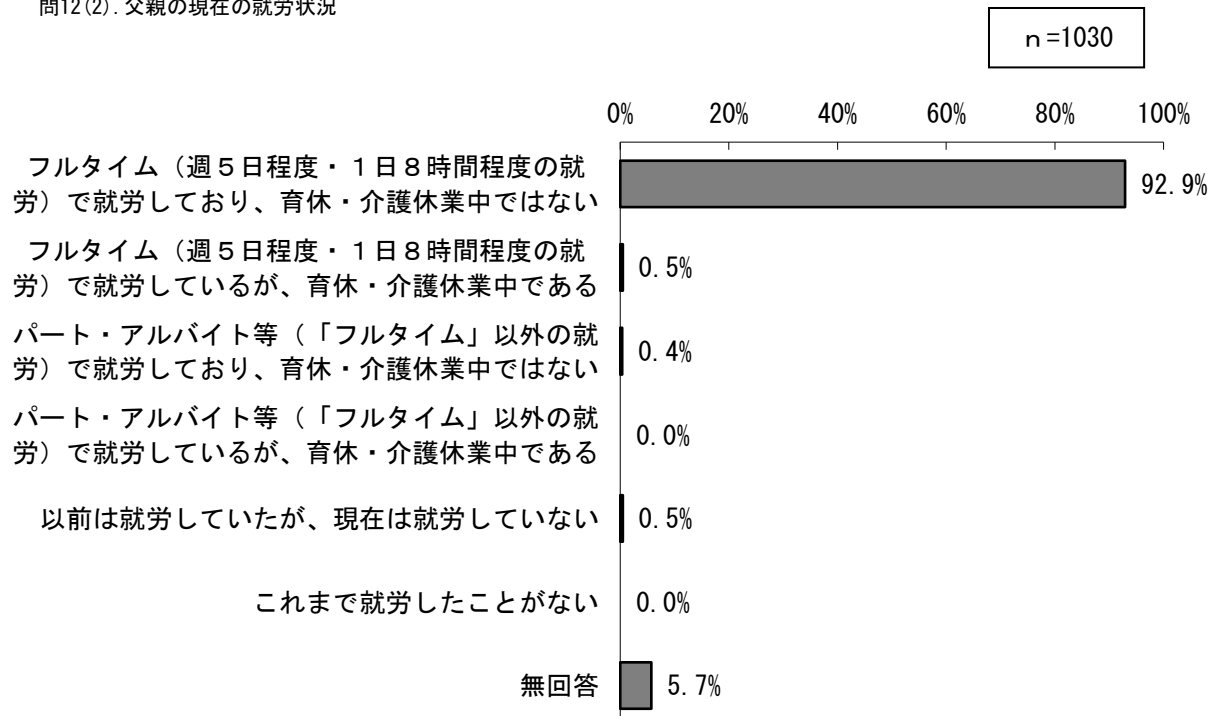
配布数	回収数	回収率
2000 票	1030 票	51.5%

(1) 保護者の就労状況

○父親の就労状況

父親の就労状況は、「フルタイム（週 5 日程度・1 日 8 時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 92.9%と最も高くなっています。

問12(2). 父親の現在の就労状況

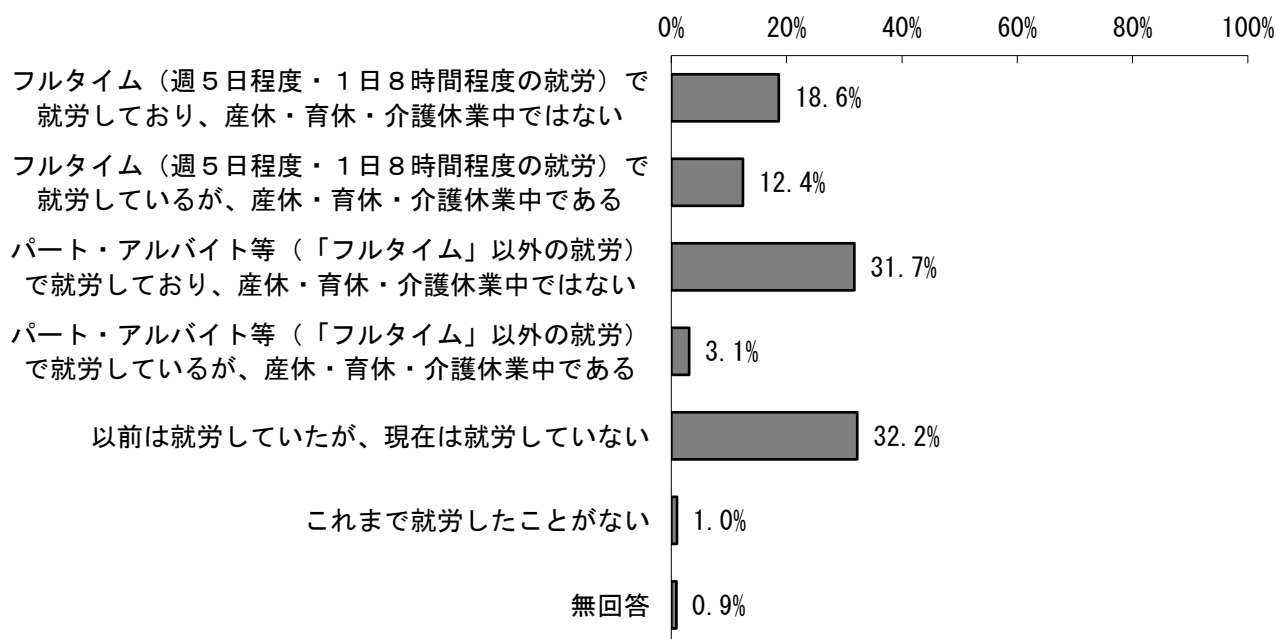


○母親の就労状況

母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 32.2%と最も高く、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・介護休業中ではない」が31.7%、次いで「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・介護休業中ではない」が18.6%となっています。

問12(1). 母親の現在の就労状況

n=1030

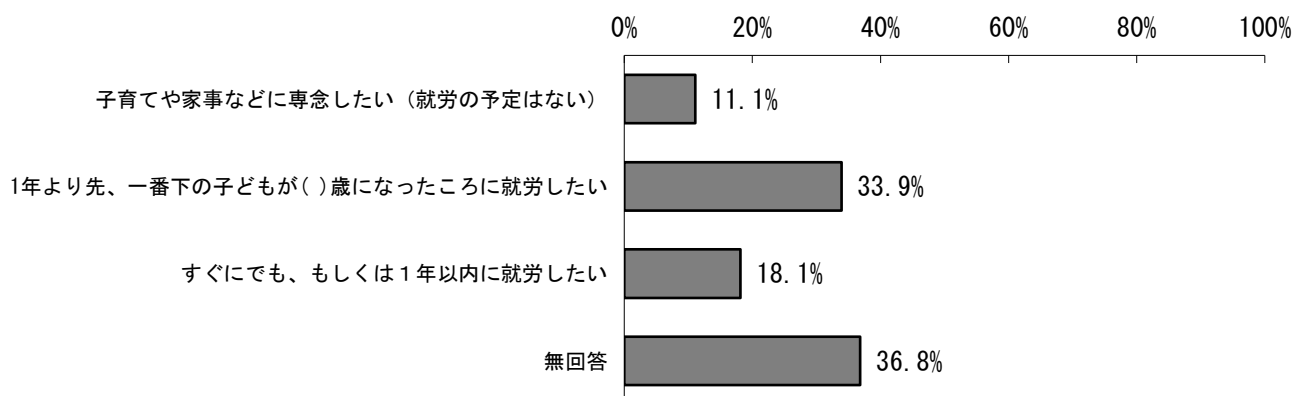


○現在就労していない母親の今後の就労希望

就労していない母親の今後の就労についての希望は、「1年以上先に、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」が33.9%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が18.1%となっています。

問14(1). 就労したいという希望[母親]

n=342

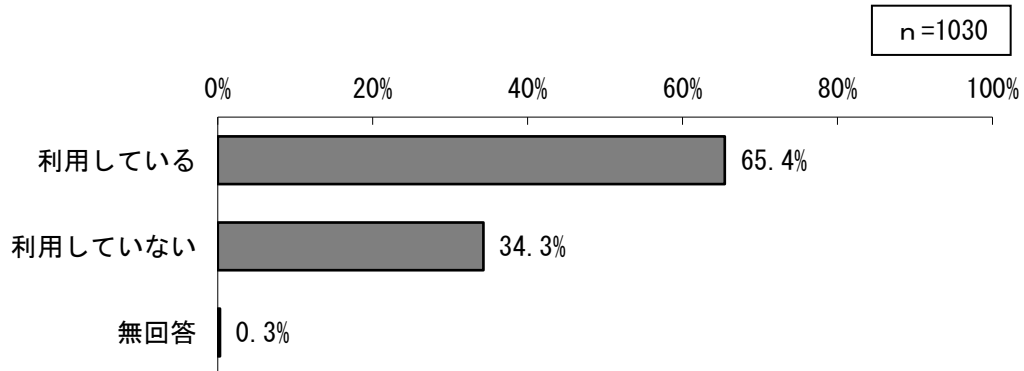


(2) 教育・保育事業の利用について

○定期的な教育・保育事業の利用状況

幼稚園や保育園（所）など「定期的な教育・保育の事業」の利用有無については、「利用している」が65.4%、「利用していない」が34.3%となっています。

問15. お子さんは現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか

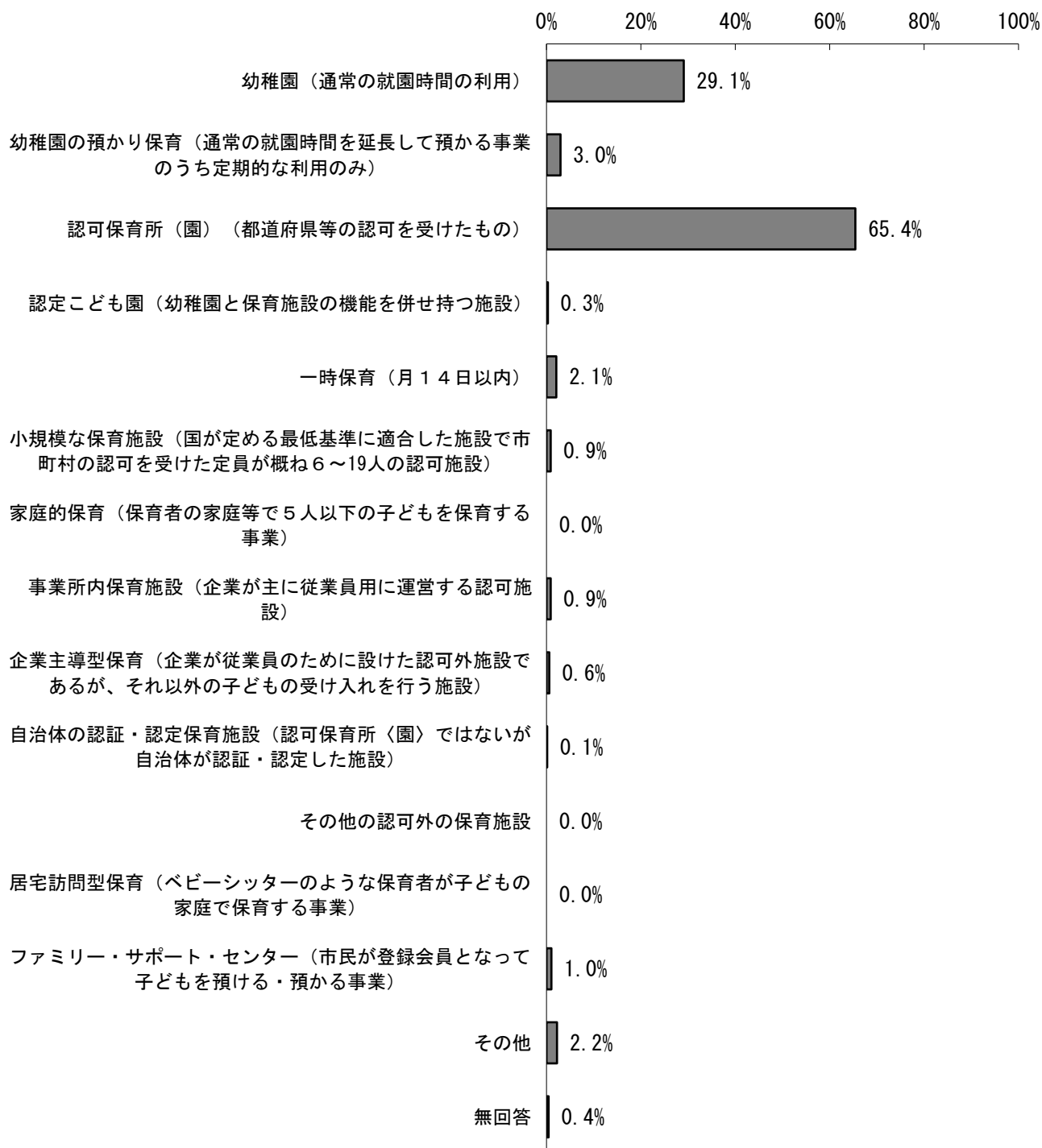


○定期的に利用している教育・保育事業

平日、定期的に利用している教育・保育事業については、「認可保育所（園）（都道府県等の認可を受けたもの）」が65.4%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が29.1%となっています。

問15-1. お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか

n=674

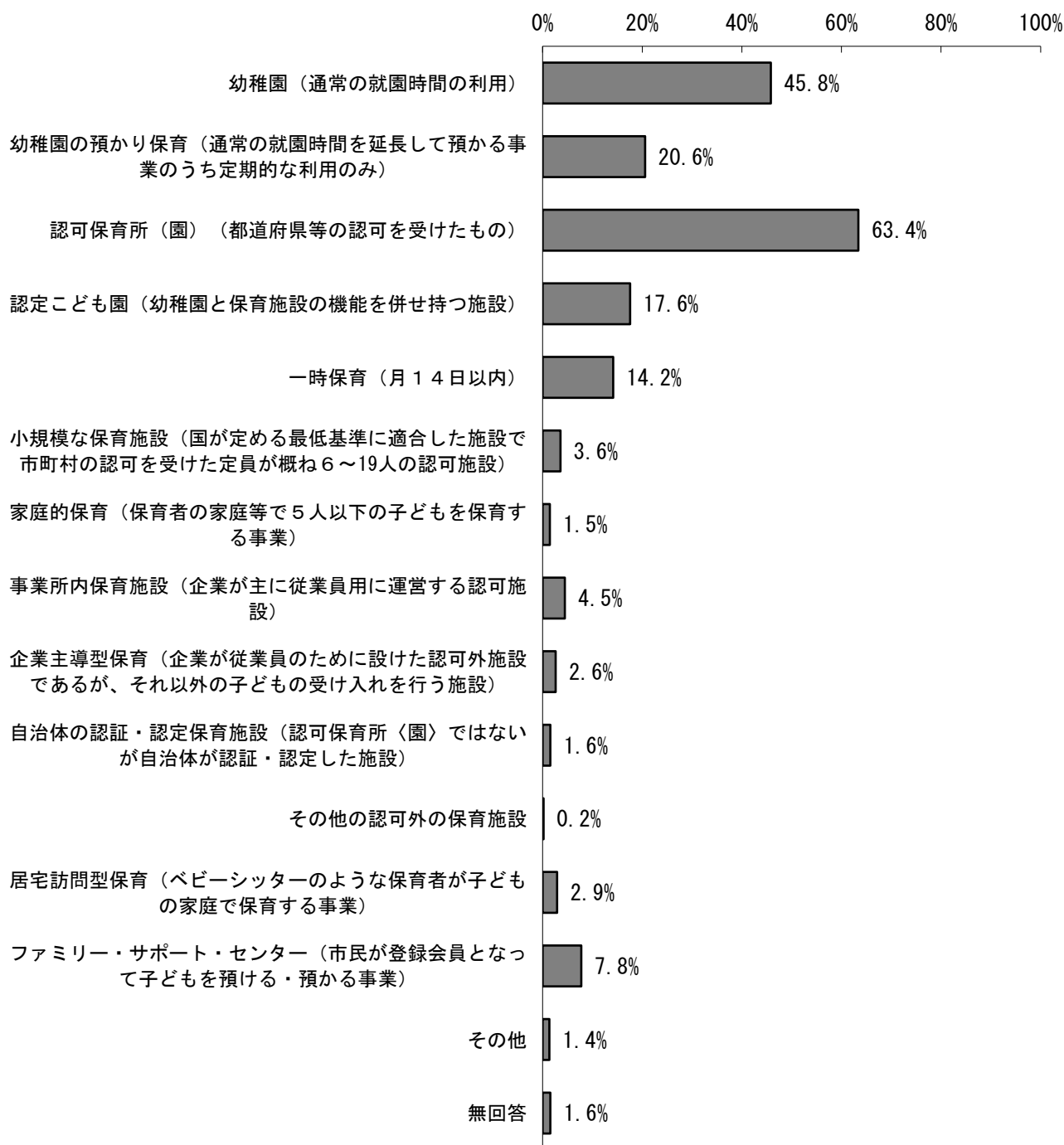


○今後、定期的に利用したい教育・保育事業

現在の利用有無にかかわらず、今後平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいのは、「認可保育所（園）（都道府県等の認可を受けたもの）」が63.4%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が45.8%となっています。（複数回答）

問16. 定期的に利用したいと考える事業

n=1030



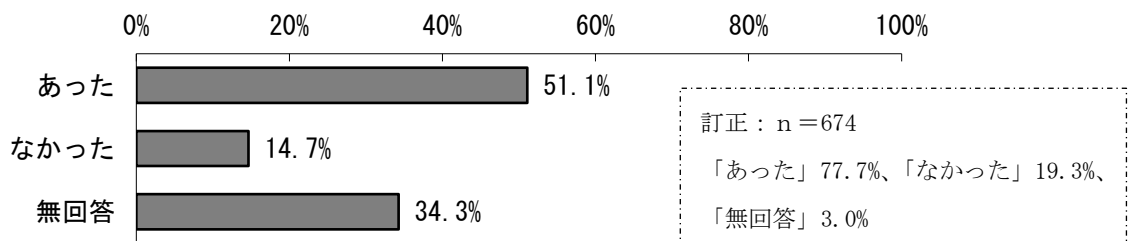
(3) 子どもが病気やケガの際の対応について

○病気やケガを理由に定期的な教育・保育事業を利用できなかったこと

子どもが病気やケガで平日の教育・保育事業が利用できなかったことの有無について、「あった」が51.1%、「なかった」が14.7%となっています。

問22. この1年間にお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか

n=1030

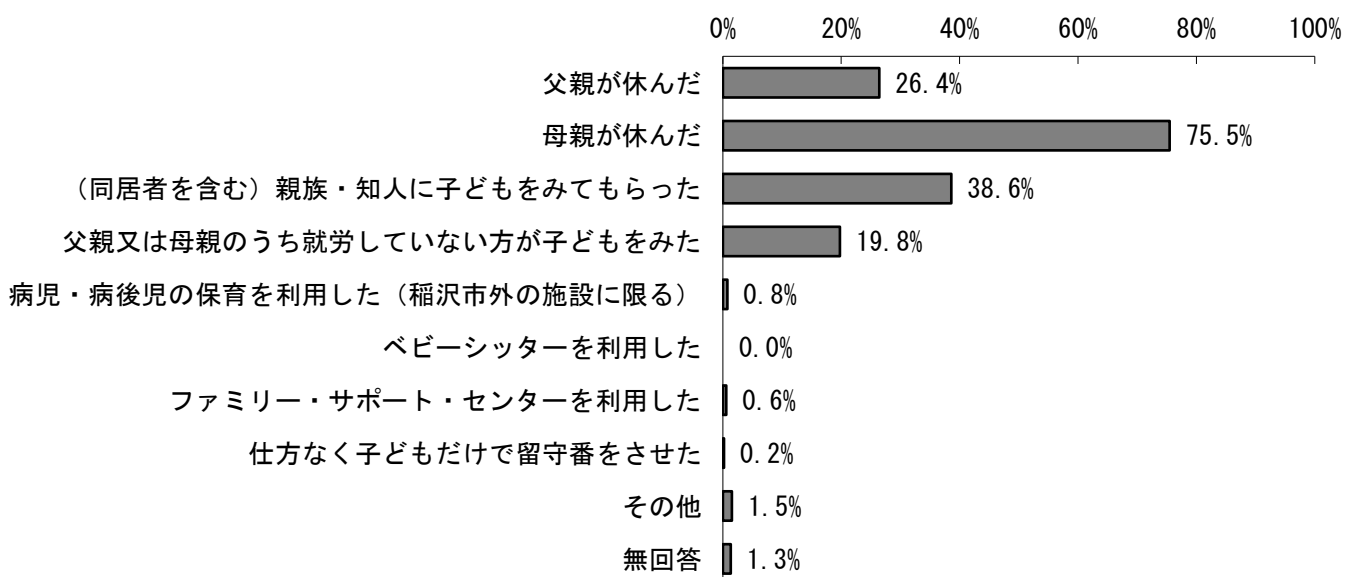


○病気やケガを理由に定期的な教育・保育事業を利用できなかったときの対処方法

子どもが病気やケガでふだん利用している教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法については、「母親が休んだ」が75.5%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が38.6%、「父親が休んだ」が26.4%となっています。
(複数回答)

問22-1. 普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法

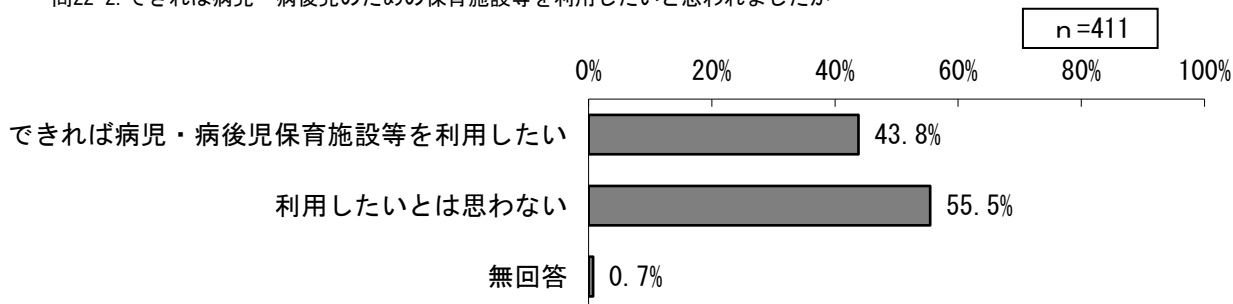
n=526



○病児・病後児保育の利用意向

病児・病後児保育施設等の利用意向について、「利用したいとは思わない」が55.5%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が43.8%となっています。

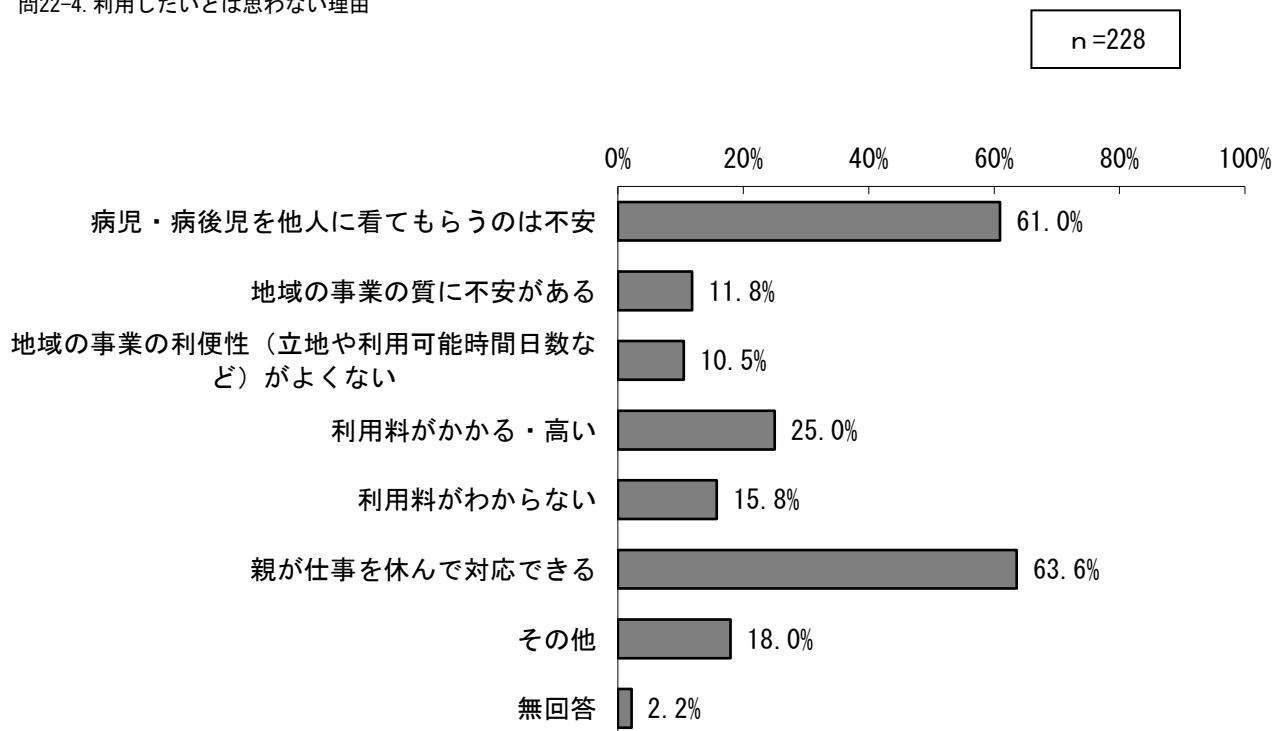
問22-2. できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思われましたか



○病児・病後児保育を利用したいとは思わない理由

病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由は、「親が仕事を休んで対応できる」が63.6%と最も高く、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が61.0%と僅差が続いています。以下は「利用料がかかる・高い」が25.0%、「利用料がわからない」が15.8%となっています。（複数回答）

問22-4. 利用したいとは思わない理由

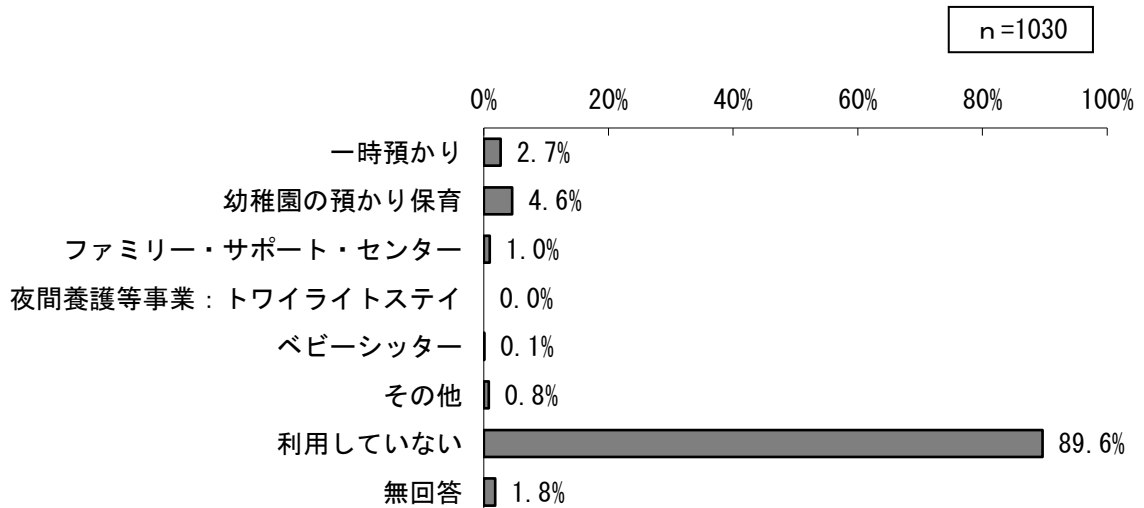


(4) 不定期の教育・保育事業の利用について

○通院や不定期の就労等を目的とした不定期に利用している事業

不定期の教育・保育事業の利用状況については、「利用していない」が89.6%と大多数を占め、以下は「幼稚園の預かり保育」が4.6%、「一時預かり」が2.7%となっています。

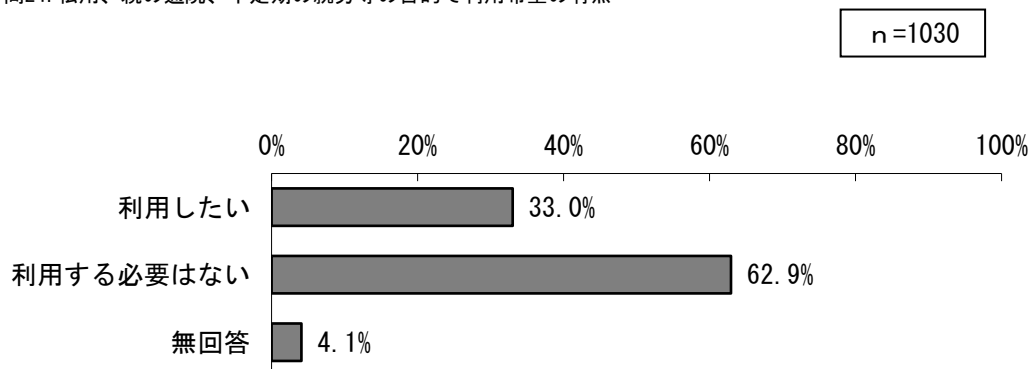
問23. 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか



○不定期な事業の利用希望

不定期の教育・保育事業の利用希望については、「利用したい」が33.0%、「利用する必要はない」が62.9%となっています。

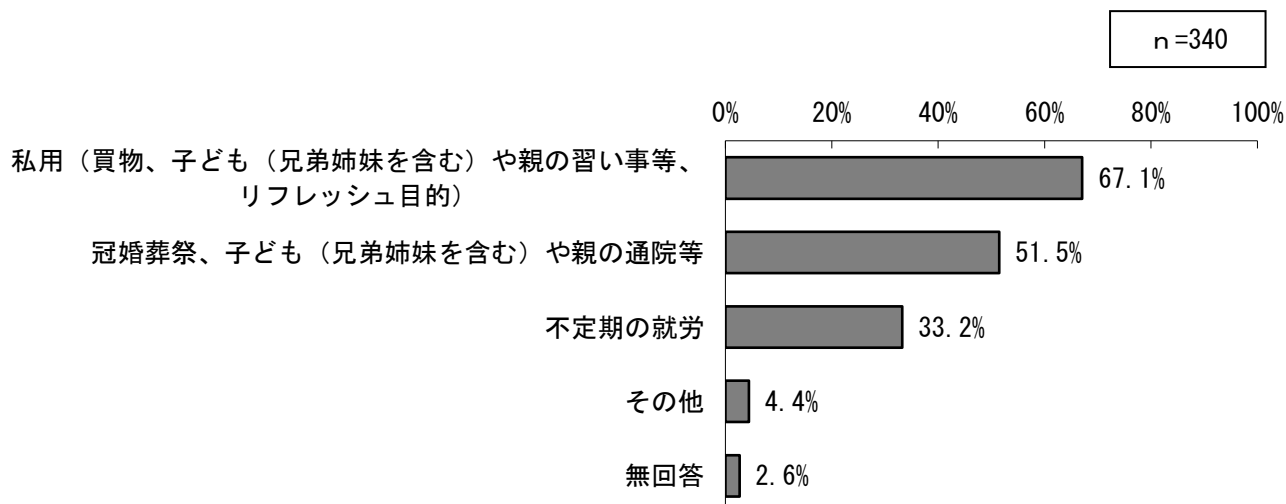
問24. 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用希望の有無



○不定期の事業の利用目的

不定期の教育・保育事業の利用目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」が67.1%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が51.5%となっています。（複数回答）

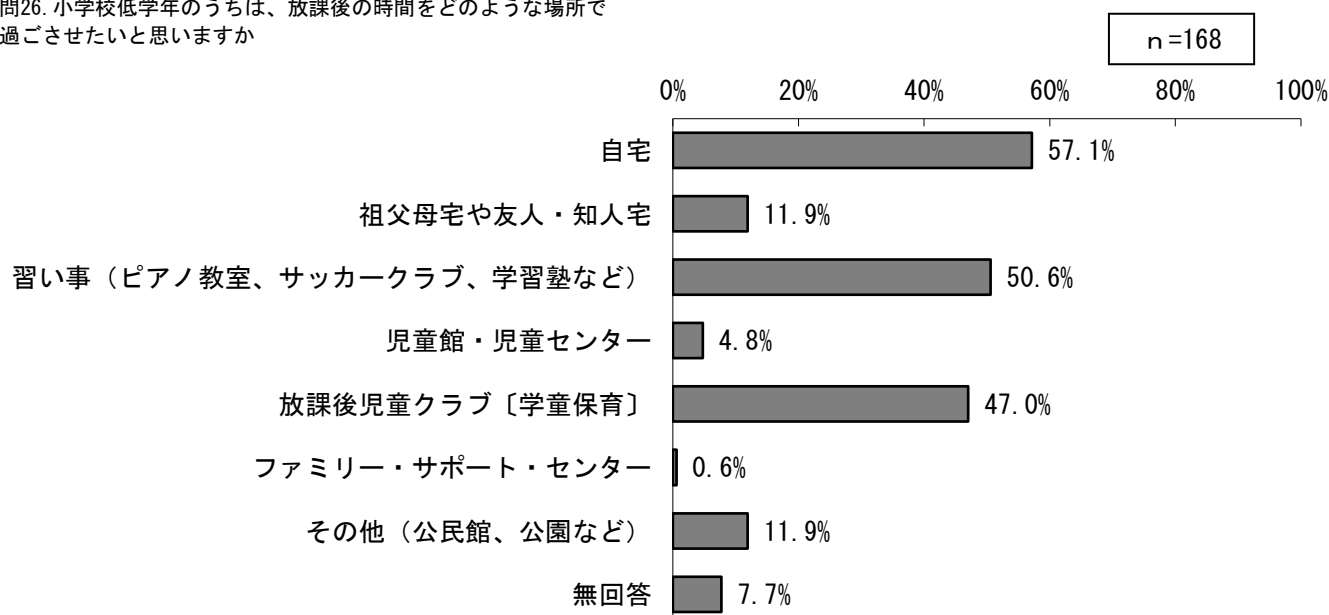
問24_1. 利用したい目的



（5）小学校就学後の放課後の過ごし方

子どもが小学校に入学した後、小学校低学年のうちは放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うかについては、「自宅」が57.1%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が50.6%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が47.0%となっています。（複数回答）

問26. 小学校低学年のうちは、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか

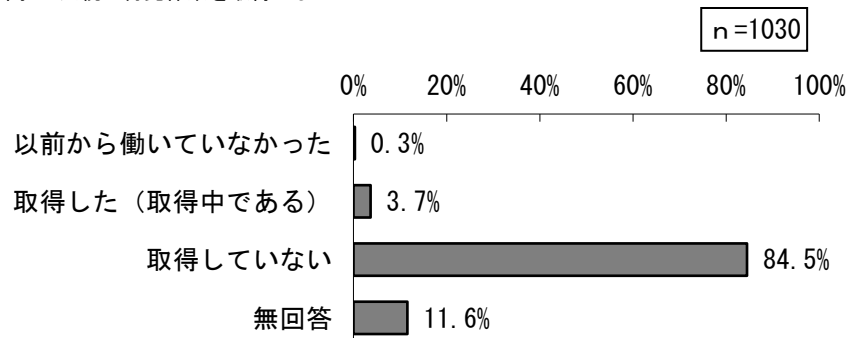


(6) 育児休暇の取得について

○父親の育児休暇の取得状況

子どもが生まれた時、父親は育児休業を取得したかについては、「取得していない」が84.5%と最も高く大半を占め、次いで「取得した（取得中である）」が3.7%となっています。

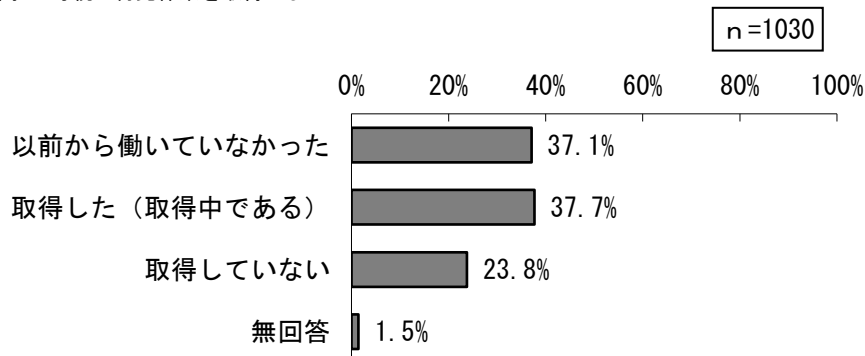
問30. 父親は育児休業を取得しましたか



○母親の育児休暇の取得状況

子どもが生まれた時、母親は育児休業を取得したかについては、「取得した（取得中である）」が37.7%と最も高く、次いで「以前から働いていなかった」が37.1%、「取得していない」が23.8%となっています。

問30. 母親は育児休業を取得しましたか

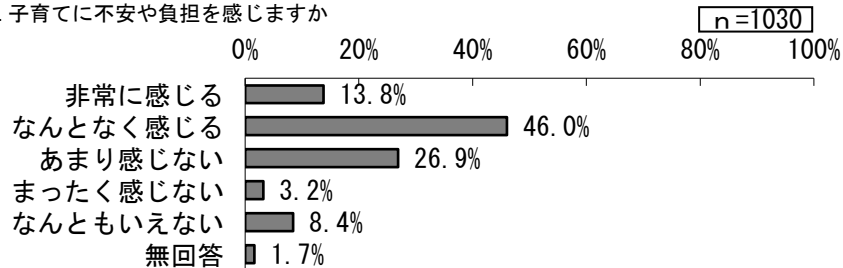


(7) 子育てと子育て環境について

○子育ての不安や負担

子育てに不安や負担を感じるかは、「なんとなく感じる」が46.0%と最も高く、次いで「あまり感じない」が26.9%、「非常に感じる」が13.8%となっています。

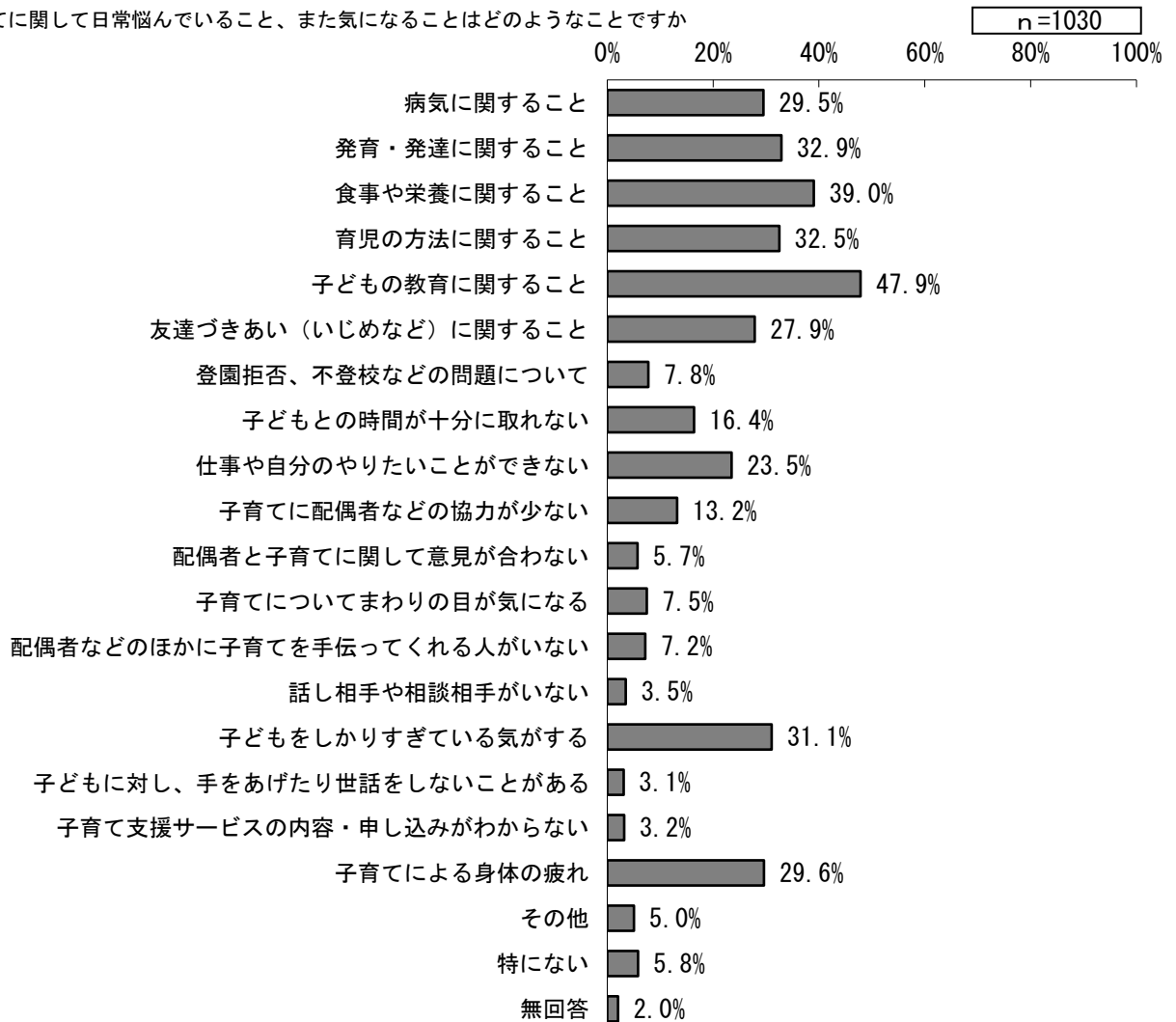
問31. 子育てに不安や負担を感じますか



○子育てに関して悩んでいること、気になること

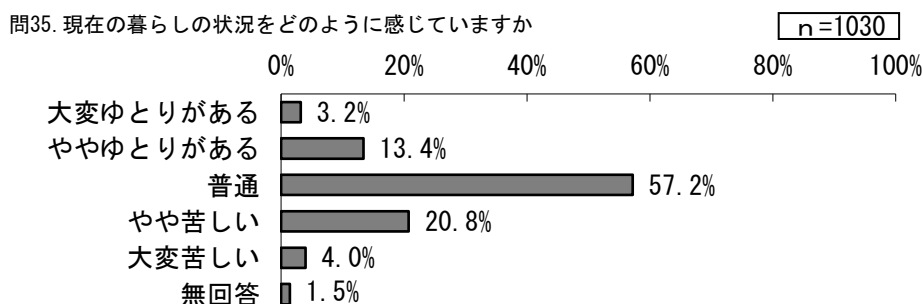
子育てに関して日常悩んでいること、また気になることは、「子どもの教育に関すること」が47.9%と最も高く、次いで「食事や栄養に関すること」が39.0%、「発育・発達に関すること」が32.9%、「育児の方法に関すること」が32.5%となっています。（複数回答）

問32. 子育てに関して日常悩んでいること、また気になることはどのようなことですか



○現在の暮らしの状況

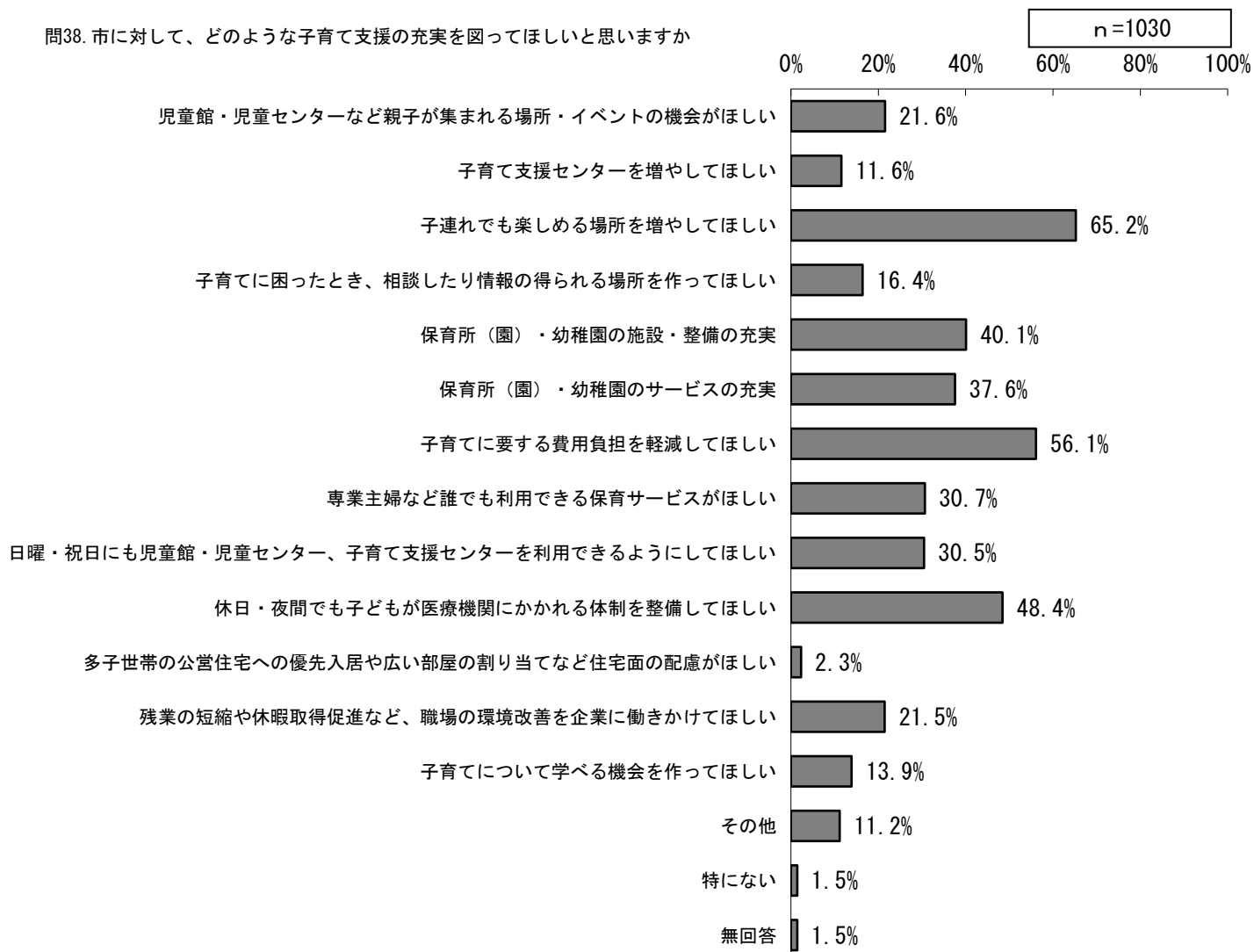
現在の暮らしの状況をどのように感じているかは、「普通」が57.2%と最も高く、次いで「やや苦しい」が20.8%、「ややゆとりがある」が13.4%となっています。



○市の子育て支援の充実に希望すること

市に対してどのような子育て支援の充実に図ってほしいと思うかについては、「子連れでも楽しめる場所を増やしてほしい」が65.2%と最も高く、次いで「子育てに要する費用負担を軽減してほしい」が56.1%、「休日・夜間でも子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」が48.4%となっています。（複数回答）

問38. 市に対して、どのような子育て支援の充実に図ってほしいと思いますか



2 調査の結果概要（小学生）

○調査対象：稲沢市在住の小学生がいる家庭の保護者 2000 世帯

○調査期間：平成 30 年 11 月 21 日～平成 30 年 12 月 5 日

○調査方法：郵送配布・回収

○配布・回収：

配布数	回収数	回収率
2000 票	1070 票	53.5%

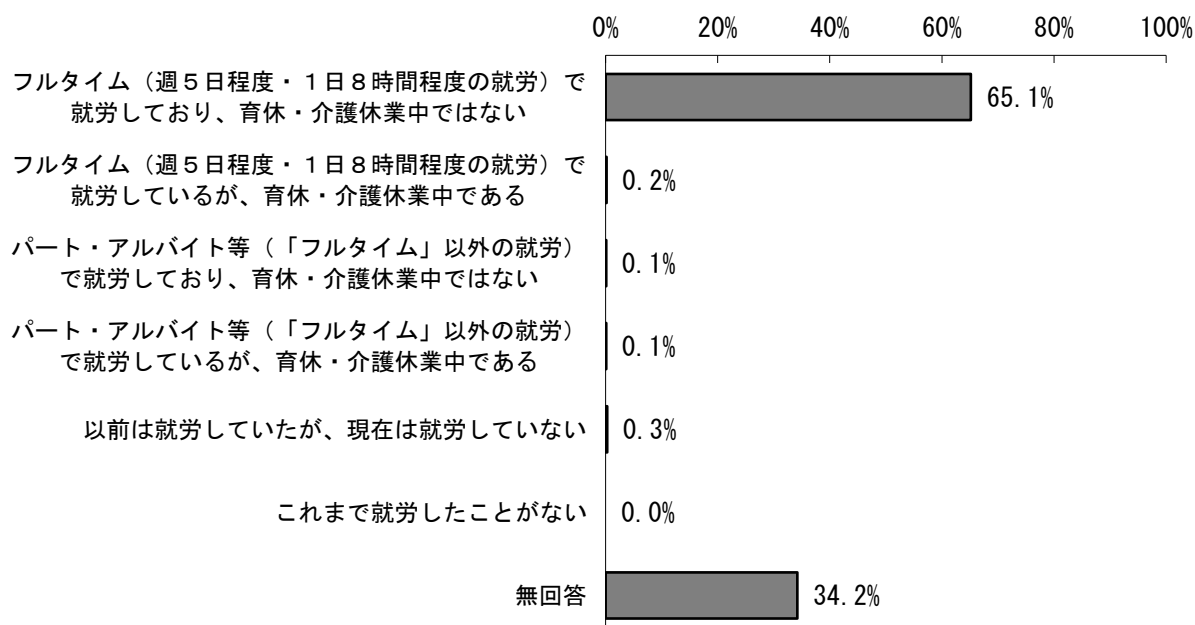
（1）保護者の就労状況

○父親の就労状況

父親の就労状況は、「フルタイム（週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 65.1%と最も高く、他は 1%未満となっています。

問8. 父親の就労状況

n=1070

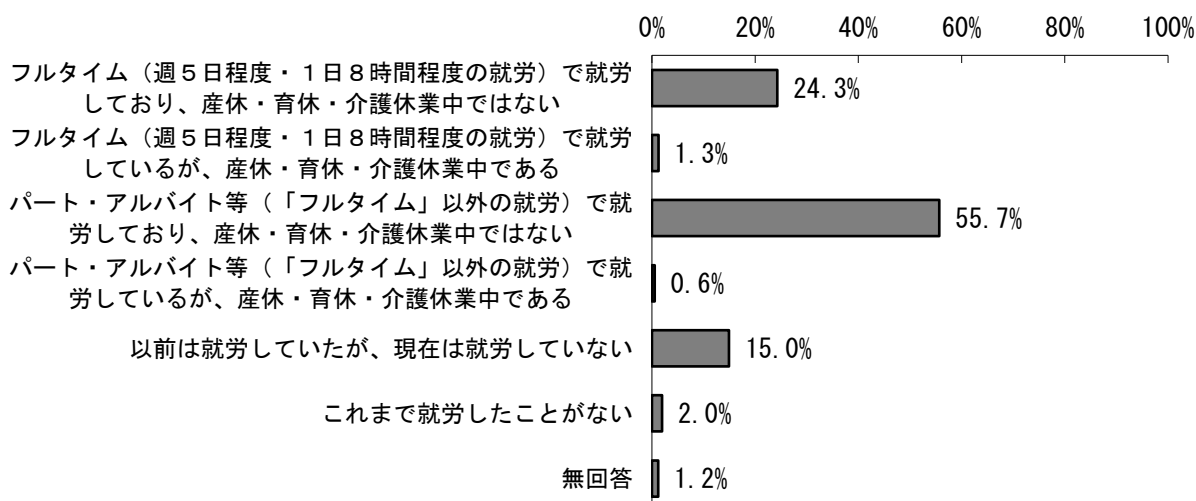


○母親の就労状況

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が55.7%と最も高く、次いで「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が24.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が15.0%となっています。

問7. 母親の就労状況

n=1070



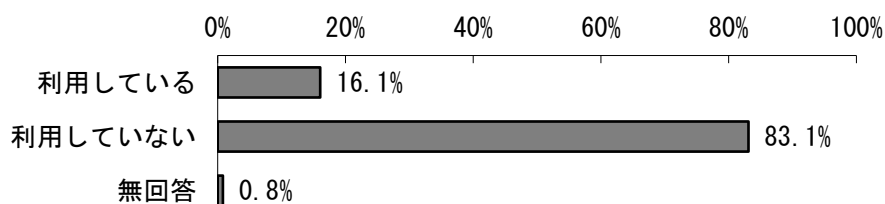
(2) 放課後児童クラブについて

○放課後児童クラブの利用状況

現在、放課後児童クラブを利用しているかについては、「利用している」が16.1%、「利用していない」が83.1%となっています。また、学年別で見ると低学年で「利用している」割合が比較的高いことがわかります。

問11. 現在、放課後児童クラブを利用されていますか

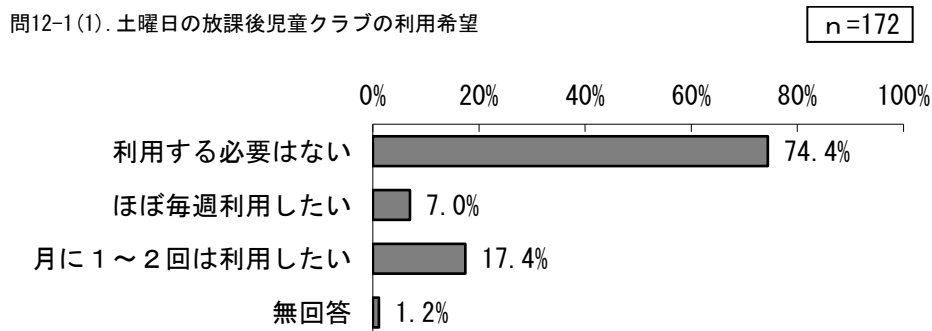
n=1070



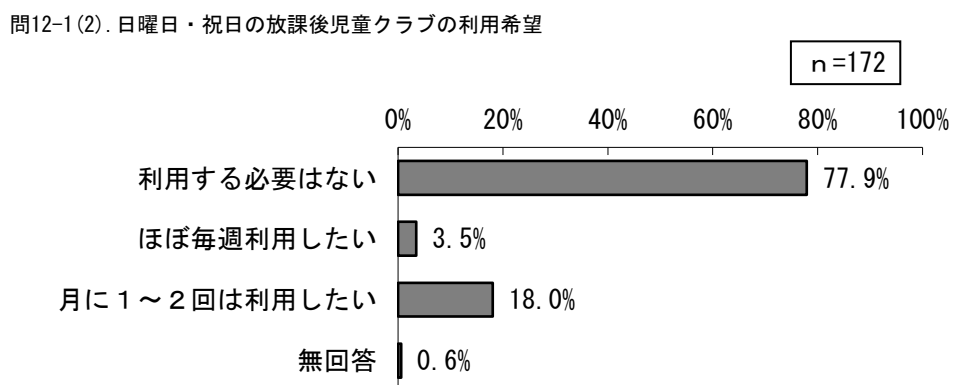
		合計	利用している	利用していない	不明
全体		1070	16.1	83.1	0.8
居住地区	東部	673	17.2	81.7	1.0
	西部	390	14.1	85.6	0.3
学年	低学年	496	24.6	74.2	1.2
	高学年	556	8.6	91.0	0.4

○土曜日と日曜日・祝日の利用希望

土曜日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が74.4%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が17.4%、「ほぼ毎週利用したい」が7.0%となっています。

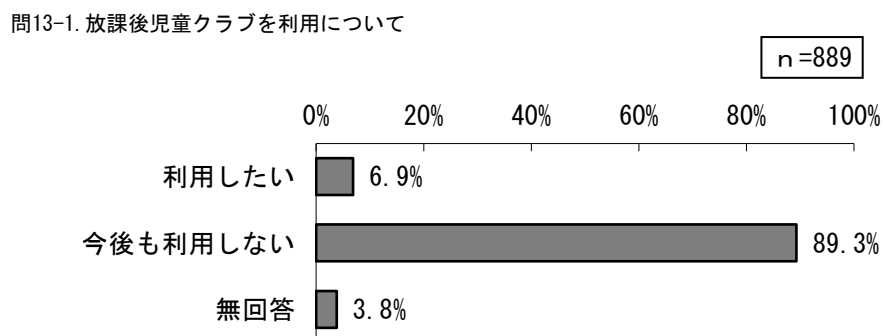


日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が77.9%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が18.0%、「ほぼ毎週利用したい」が3.5%となっています。



○放課後児童クラブを利用していない人の、今後の利用意向

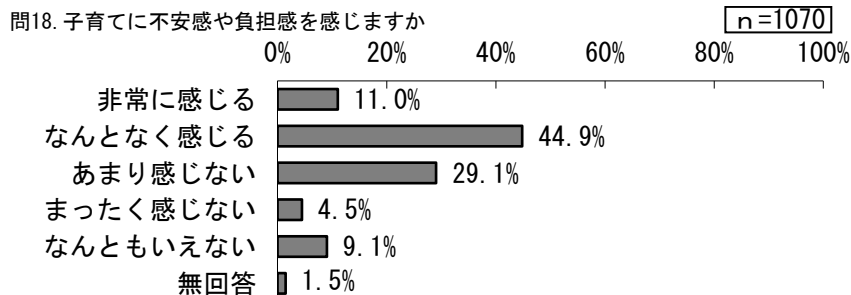
放課後児童クラブを利用していない人の、今後の利用意向は、「今後も利用しない」が89.3%、「利用したい」が6.9%となっています。



(3) 子育てと子育て環境について

○子育てについての不安や負担

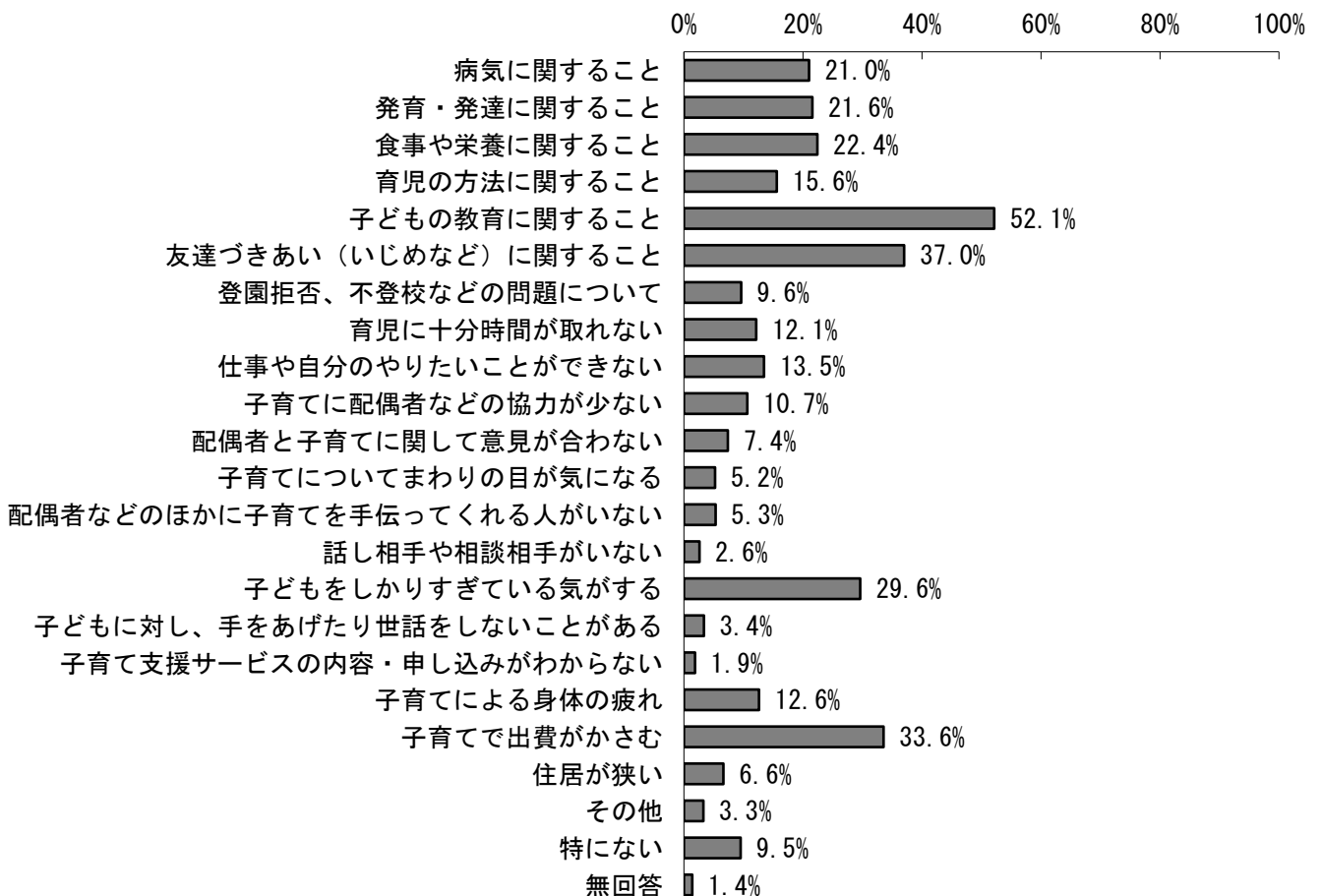
子育てに関して不安や負担を感じるかは、「なんとなく感じる」が44.9%と最も高く、次いで「あまり感じない」が29.1%、「非常に感じる」が11.0%となっています。



○子育てについての悩み

子育てに関して日常悩んでいること、また気になることは、「子どもの教育に関すること」が52.1%と最も高く、次いで「友達づきあい（いじめなど）に関すること」が37.0%、「子育てで出費がかさむ」が33.6%、「子どもをしかりすぎている気がする」が29.6%となっています。（複数回答）

問19. 子育てに関して日常悩んでいること、また気になることはどのようなことですか n=1070

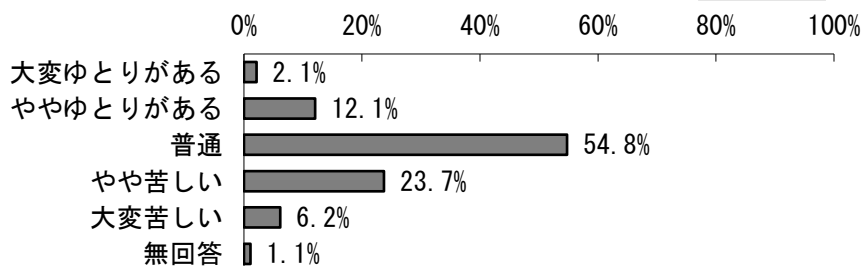


○現在の暮らしの状況

現在の暮らしの状況をどのように感じているかは、「普通」が54.8%と最も高く、次いで「やや苦しい」が23.7%、「ややゆとりがある」が12.1%となっています。

問22. 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか

n=1070

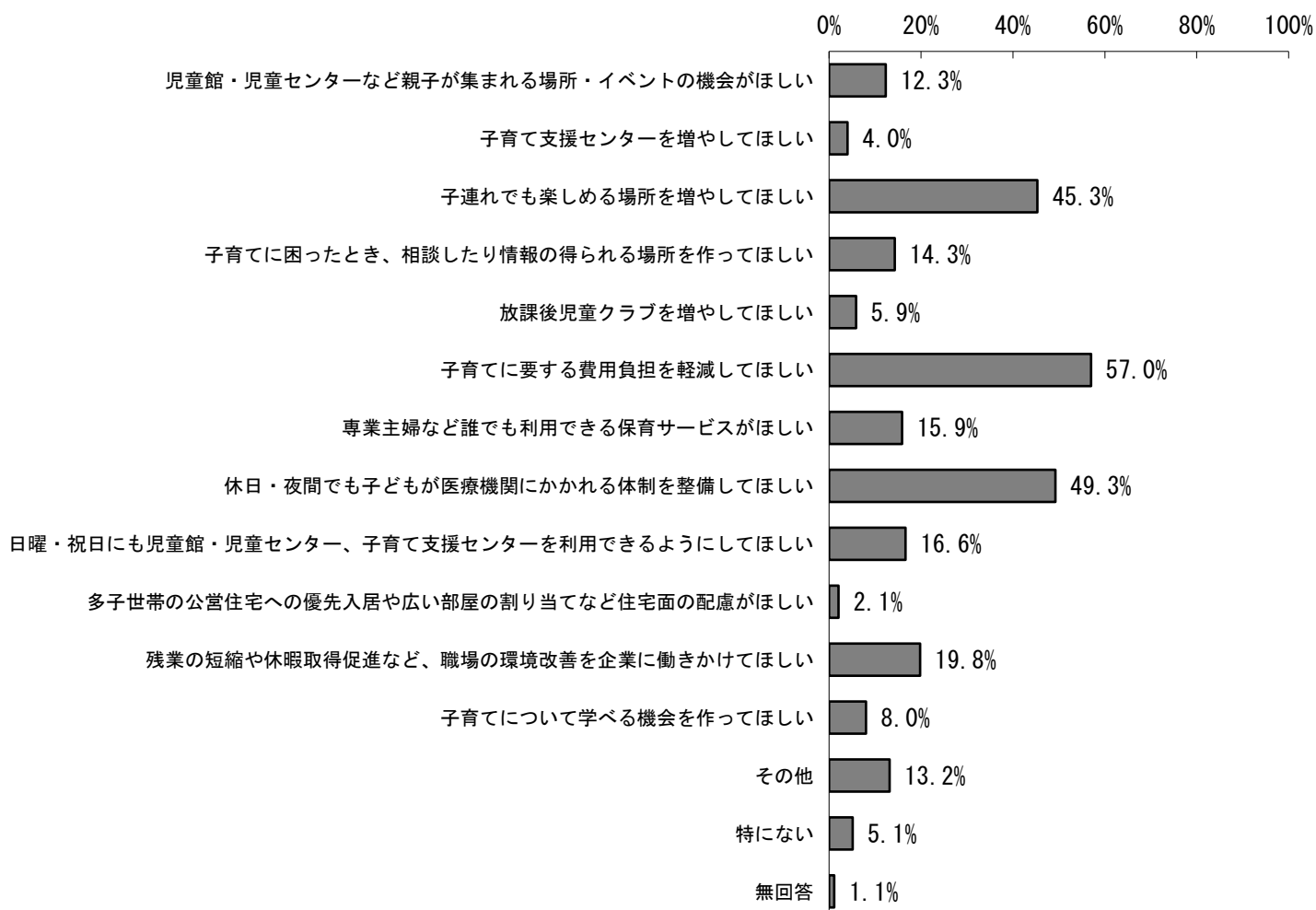


○市の子育て支援の充実に希望すること

市に対してどのような子育て支援の充実に図ってほしいと思うかについては、「子育てに要する費用負担を軽減してほしい」が57.0%と最も高く、次いで「休日・夜間でも子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が49.3%、「子連れでも楽しめる場所を増やしてほしい」が45.3%となっています。（複数回答）

問25. 市に対して、どのような子育て支援の充実に図ってほしいと思いますか

n=1070



3 アンケート結果からみえる課題

●子育て中の親と子どものための居場所づくり

市の子育て支援の充実に希望することについて、「子連れでも楽しめる場所を増やしてほしい」と答えた方が、未就学児家庭では6割、小学生家庭では4割を超えており、子育て中の親が気兼ねすることなく出かけることができ、子どもも楽しめる居場所が求められています。

●子育ての不安や経済的負担を軽減するための取組

子育てについての不安や負担について、「非常に感じる」と「なんとなく感じる」の合計は未就学児家庭・小学生家庭ともに半数を超えています。子育てについての悩みについては、「子どもの教育に関すること」が最も高く、約半数となっており、次いで、未就学児家庭は「食事や栄養に関すること」、小学生家庭は「友達つきあい（いじめなど）に関すること」となっています。

また、小学生家庭では「子育てで出費がかさむ」と答えた方は3割以上おり、市の子育て支援の充実に希望することに「子育てに要する費用負担を軽減してほしい」と答えた方も6割となっています。

このような、子育てについての不安や経済的負担といった悩みを抱えている親は多く、今後も、子育て世代を支える施策を継続・検討する必要があります。

●育児休暇取得への取組

育児休暇の取得について、「取得していない」が父親は8割を超えており、母親も「取得した（取得中である）」は4割以下にとどまり、「取得していない」も2割ほどいます。また、市の子育て支援の充実に希望することについて、「残業の短縮や休暇の取得促進など、職場の環境改善を働きかけてほしい」が約2割となっています。このため、子育てに対して両親が協力して取り組める環境を整備し、親のワーク・ライフ・バランスを大切に考え、子育てしやすい環境づくりを進めるため、引き続き、企業・事業所等での取り組みと、その働きかけが求められています。

●病児とその家族を支える取組

子どもが病気やケガで平日の教育・保育事業ができなかったことについて、「あった」が半数を超え、利用できなかった場合の対処方法については、「母親が仕事を休んだ」が7割を超えているものの、「病児・病後児の保育を利用した」は1割未満にとどまっています。しかしながら、今後の病児・病後児保育の利用意向については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が4割を超えています。さらに、市の子育て支援の充実に希望することについては、「夜間・休日でも子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」と答えた方が約半数をとっています。このため、子どもが病気等になった際に、安心して対応できるような体制づくりや支援を今後も進めていく必要があります。